



簡易ガイド・業界・製造業と産業

納品書を発注書と手で照合していますか？ 品目ごとの差異が、すでに一覧になっています。

納品書、材料証明書、試験成績書、図面が、受入口に郵便とメールで届きます。この簡易ガイドでは、PaperOfficeが入荷時にそれらを取り込み、明細とロットを読み取り、発注書、納品書、請求書を照合する方法を説明します。生産、購買、品質管理のためのガイドです。

概要

受入口のネットワークスキャナーからのスキャン、数量とロットを出典付きの表にした明細、発注参照ごとの3-way照合、そしてロットの材料証明書と試験成績書を見つける検索。

01・課題の内容

商品は受入口に届いている。 確認には時間がかかる。

入荷時には、納品書は紙で届き、材料証明書は購買にメールで届き、請求書は経理に届きます。品目、数量、ロットが発注と一致しているかを確認する人は、書類を並べて明細を打ち直します。それまで商品は待たされるか、確認されないまま生産に回されます。

なぜ起こるのか

書類がばらばらに届く

納品書はトラックと一緒に、証明書はメールで、請求書は数日後に郵便で届きます。本来まとまっているべきものが三か所に分かれ、誰かが確認するときになって初めて集められます。

仕入先ごとに書式が違う

明細、数量、ロットは、仕入先の書類ごとに違う場所に書かれています。仕入先ごとに固定のテンプレートを作っても、新しい仕入先にはほとんど追いつきません。

ロットは追跡可能でなければならない

クレームの際に重要なのは、どの納品書、どの証明書、どの試験成績書がロットに属するかです。書類が散らばっていると、探索はバインダーとメールボックスから始まります。

気づくポイント

- 納品書は、誰かが事務所に運ぶまで、受入口のトレイに置かれたままになる。
- 明細と数量を、ERPの発注と一行ずつ手で比べている。
- 材料証明書は購買のメールボックスにあり、受入担当は後になってから目にする。
- 納品超過は、請求書が届いて初めて分かる。
- クレームの際、あるロットの証明書を、複数のバインダーから探している。

02・PAPEROFFICEでの進め方

受入口からWorkspaceへ、 発注と照合まで。

発注書、納品書、請求書は、同じWorkspaceに届きます。AI-DMSが種類を認識し、IDP Agentが明細を読み取り、PaperOfficeが同じ発注参照を持つ書類を照合します。検索はロット番号から証明書と試験成績書を見つけてます。

1

受入口と受信箱からのスキャン

入荷時のネットワークスキャナーは、SFTPで独自の受信箱にスキャンを送り、Connectorがそれを Workspace に届けます。メールのConnectorは、メールボックスから証明書を取り込みます。

モジュール: ネットワークスキャナー

2

種類を認識

AI-DMSは、納品書、発注書、請求書、証明書、試験成績書、技術図面、適合宣言書を認識します。材料証明書など、ご自身の種類を追加することもできます。

モジュール: 分類

3

明細とロットを読み取る

Analyze Delivery Note テンプレートは、発注参照と明細を表として読み取り、ロット、シリアル番号、重量などの列も含みます。フィールドと表の行には、それぞれ出典が付きます。

モジュール: IDP AGENT

4

発注と照合

発注書、納品書、請求書に同じ発注参照があれば、PaperOfficeはWorkspace内でそれらを照合します。ヘッダーの金額、納品数量、請求数量、品目ごとの単価を比べます。

5

ロットの証明書を見つける

検索は、スキャンを含むすべての書類の認識されたテキストから、ロット番号を見つけてます。ドキュメントチャットは「ロット2211はどの証明書に属しますか？」のような質問に、該当する書類を添えて答えます。

モジュール: スマート検索

03・アプリでの操作

受入口のスキナーから、 3-way照合まで。

入荷から照合までのルートの設定手順は次のとおりです。必要なのは、発注書、納品書、請求書が一緒に並び、AI-DMS Premiumの入荷用Workspaceです。

1 受入口のスキナーを接続する

Document AI > Storage Mounts で、スキナーエンドポイントとして提供 を使って Storage Mount を追加し、エンドポイントを有効化 を選択して、デバイス上でホスト、ポート 2022、ユーザー名およびパスワードを入力します。コネクタがスキャンを取得します。

2 テンプレートからエージェントを作る

納品書の一つを選び、アクション > エージェントとワークフロー > IDP を開いて Analyze Delivery Note でエージェントを作成します。発注書には Process Order を、請求書には Extract Invoice (Full) を選びます。

3 書類の種類ごとにエージェントを一つ

Document AI > ドキュメントタイプ で、納品書、発注書、請求書に IDP Agent をバインド を使い、対応するエージェントを設定します。その後、すべてのWorkspaceで新たに検出されたすべての書類を読み取ります。

4 発注ごとにまとめる

ドキュメント一覧で グループ化 > 発注参照 (PO) を選びます。各グループには、発注書、納品書、請求書がそろっているか、照合の状況が表示されます。

5 差異を確認する

3者照合 ダイアログには、例えば納品数量が発注数量を超えていないかなど、チェック項目が一覧表示され、品目ごとに発注、納品、請求の数量が示されます。

現場からのヒント

最も扱いにくい仕入先でテストする 最初のテストでは、三社の仕入先の納品書を選んでください。捺印されたスキャンも含めます。テスト実行では、フィールドごとに値、ページ、出典が示されます。本番の前に、数量とロットが正しいかを確認できます。

04・事例

射出成形工場、仕入先は十二社、受入口は一つ。



従業員90名の射出成形工場は、十二社の仕入先から、原料樹脂、着色剤、インサート部品を購入しています。入荷受付では納品書を紙で受け取り、材料証明書は購買にメールで届きます。生産計画は、ERPの発注と数量およびロットを照合しています。

導入前

- 納品書は、生産計画が取りに来るまで、受入口のトレイに置かれている。
- 数量と品目を、ERPの発注と一行ずつ比べている。
- 材料証明書は、納品書とは別に購買のメールボックスに入っている。
- クレームの際、あるロットの証明書をバインダーから探している。

PAPEROFFICE導入後

- 受入担当は、ネットワークスキャナーですべての納品書をスキャンし、ConnectorがそれをWorkspaceに保存する。
- 納品書上の明細、数量、ロットが、出典付きの表になる。
- 発注参照ごとのグループで、数量と単価が発注と一致しているかが分かる。
- ロット番号で検索すると、納品書、証明書、試験成績書が見つかる。

説明のための架空の事業です。登場する人物はすべて架空です。ご自身の仕入先の書類で、発注参照、品目番号、ロットが正しく読み取られるかを確認してください。

05・チェックリスト

最初の納品書が スキャナーを通る前に。

入荷、購買、品質管理と一緒に、次の項目を確認してください。それぞれ、開始前にご自身の工場です決めることができます。

- | | |
|---|---|
| ☐ 一つの工場の発注書、納品書、請求書が、同じWorkspaceに入っている。 | ☐ 入荷用のWorkspaceは、AI-DMS PremiumまたはUltraで処理される。 |
| ☐ 仕入先は、納品書と請求書に、お客様の発注番号をそのまま印字している。 | ☐ 発注書、納品書、請求書で、品目番号が同じである。 |
| ☐ 受入口のネットワークスキャナーがScanner Endpointとして設定され、テストスキャンで確認されている。 | ☐ 納品書のエージェントは、複数の仕入先の書類、スキャンを含めてテストされている。 |
| ☐ 3者照合 で差異の判断を誰が行うかが決まっている。 | ☐ 材料証明書について、ロットや材料など、どのフィールドを読み取るかが明確になっている。 |
| ☐ 図面と配合は、グループ権限を持つ別のWorkspaceに保管されている。 | ☐ 新しい図面の改訂版は、既存の書類に版として追加される。 |

06・よくある質問

入荷、購買、品質管理が まず知りたいこと。

仕入先ごとにテンプレートが必要ですか？

フィールドは一度記述すれば、IDP Agentは新しいレイアウトでも内容によって読み取ります。エージェントを自動で動かす前に、複数の仕入先の納品書でテストしてください。

ロットとシリアル番号は読み取られますか？

はい、納品書に記載があれば読み取ります。

Analyze Delivery Note テンプレートは、それらを明細表の列として読み取ります。証明書と試験成績書では、ロットを平易な言葉で記述した独自のフィールドとして追加します。

データはどのようにERPに入りますか？

計上はお使いのERPに残ります。PaperOfficeはフィールドをXLSX、CSV、JSONで渡します。あるいは、ERPがREST APIを通じて取得することもでき、例えばPOST /documents/idp-agent-runを使います。

発注との照合には何が必要ですか？

発注書、納品書、請求書が同じWorkspaceにあり、発注参照の綴りが同じであることです。数量と単価を照合するには、三つの書類すべてで同じ品目番号が必要です。明細がない場合は、照合はヘッダーの金額を比べます。

捺印された書類や手書きの書類はどうですか？

AI-OCRはスキャンや写真も読み取ります。AI-DMS Ultraでは、手書き、捺印、署名が書類上の別の詳細として追加されます。手書きの値は、ERPに入力する前に原本と照らして確認してください。

図面と配合はどのように保護しますか？

別のWorkspaceに保管します。グループ権限で、閲覧、アップロード、またはすべての操作を行える人を決めます。BusinessのWorkspace種類からは、パスワードまたはSMSコードでファイルを開くことも保護できます。新しい改訂版は版として保存します。

07・始め方

次の納品書を、受入口でスキャンしてみましよう。

PaperOfficeのアカウントにサインインし、入荷用のWorkspaceを作成して、発注書と納品書をアップロードしてください。費用は利用量に応じて発生し、料金ページに詳しく記載されています。

仕入先を一社選ぶ

頻繁に納品があり、書類に発注番号がきれいに印字されている仕入先から始めてください。

一週間分で照合する

一週間分の発注書と納品書を取り込み、照合の結果を、これまでの確認と比べてください。

すべての仕入先に広げる

流れがうまく動いたら、受入口のスキャナーを接続し、エージェントを書類の種類に割り当ててください。

関連データシート

ネットワークスキャナー

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-integration-network-scanner-ja.pdf

Connectors

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-connectors-ja.pdf

分類

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-classification-ja.pdf

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

AI-OCR

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-ocr-ja.pdf

スマート検索

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-smart-search-ja.pdf

このテーマの関連情報

製造業と産業

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/industry/ai-manufacturing-production-document-automation



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/industry/ai-manufacturing-production-document-automation

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase